

平成 28 年度事業報告

1. 概要（理事長：長谷川 演）

全てを一步進める。

第一の目標はゆるやかに達成し、滞りなく一段上ったステージの景色が広がりました。

各事業も各委員長のリーダーシップと連携が確立され、スムーズ且つ新しい方向も

見えてきました。

JCDならではの強みを生かし、それらを確立すべく向かった時間。

しっかりと地に足をつけ基礎固めをしつつ歩いた1年。

さらなる進化が期待できます。

2. 各事業の報告

（1）事業部（部長：窪田 茂）

（委員長会議議長：大滝道晴）

①デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

JCD デザインアワード 2016 は、昨年よりさらに応募総数を伸ばし、528 点もの数に上った。国内からは 421 点、海外からは 107 点の応募があり、年々 JCD アワードのグローバル化が進んでいる。

国別では台湾から 77 点、香港から 13 点、中国から 12 点、韓国から 4 点、アメリカから 1 点である。APSDA、East Gathering での活動を通して JCD アワードでもさらに海外との相互交流が深まっている。

部門は昨年同様 6 部門に別けてインターネットによって作品を募集。

一次審査は審査員 27 名のネット審査によって BEST100 の作品 108 点を選出。二次審査は 6 月 25 日東京デザインセンターにて公開審査という形式で行われた。今年は審査員を全員デザイナーとし、審査委員長橋本夕紀夫、飯島直樹、小坂竜、近藤康夫、長谷川演、間宮吉彦、面出薫という JCD 正会員でもある諸氏にお願いした。これは一度 JCD アワードの原点に立ち返ることを目的としている。

まず BEST100 から銀賞以上 30 作品を部門別に出選、そのなかからさらに金賞以上 10 作品を選んだ。最終選出では長時間に及ぶ白熱した議論の末、最後は挙手によって満場一致で谷尻+吉田氏の BOOK AND BED TOKYO に決定。昨年とは対照的な結果となっている。

贈賞式は2016年11月11日明治記念館で執り行われた。引き続き行われたデザインメッセージでは谷尻誠+吉田愛氏、高橋正明氏、武石正宣氏の4名でトークセッションを行い、終了後は出席者全

員での立食パーティー交流会を行っている。贈賞式へは約170名の参加があり、年々格式ある贈賞式になってきている。

②Soda 委員会（委員長：新藤 力）

平成 28 年度の Soda 出前授業形式ワークショップは、関東地区では 9/23(金)神奈川県相模原市立鹿島台小学校(6 年生 77 名対象/講師 16 名)※グループでテーマを決めそのテーマに基づき個人作品の制作、9/26(月)中野区立平和の森小学校(4 年生 111 名対象/講師 19 名)※個人作品の制作、10/5(水)・14(金)大田区立蒲田小学校(4 年生 73 名対象/講師延べ 24 名)、年が明けて 2/16(木)杉並区立浜田山小学校(6 年生 112 名対象/講師 22 名)の 4 校で開催。支部主催では念願であった東北地区、宮城県東松島市立鳴瀬桜華小学校(6 年生 47 名対象/講師 22 名)での開催が実現いたしました。また、年が明けて 1/20(金)中国支部主催で福山市のぎんがの郷小学校(5 年生 41 名対象/講師 10 名)、沖縄支部主催で沖縄県中頭郡西原町・西原町立西原南小学校(6 年生 62 名対象/講師 32 名)の 3 校で実施いたしました。北海道支部・九州支部におかれましても、独自の活動を継続されております。

タイアップ事業といたしましては、窪田副理事長のご紹介で(公財)日本デザイン振興会とタイアップ、東京ミッドタウンで開催された「DESIGN HUB・キッズウィーク 2016」において 8/16(火)“夏休み!親子 de わくわくワークショップ”を実施(小学生 13 名・家族 17 名/講師 27 名)。1 家族 1 作品を制作いたしました。つづいて 10/29(土)・30(日)でも「GOOD DESIGN EXHIBITION 2016」において“ポップアップカードを作ろう!〜お店・お家〜”を開催(講師延べ 20 名)。ポップアップカードを Soda 風アレンジして短時間で立体を制作できるプログラムを開発、ミッドタウン 3 階サントリー美術館横のスペースで Soda 初の“屋台型”のワークショップを実施いたしました。2 日間で 4 歳から 83 歳まで 60 名の方が参加、六本木という場所柄か国際色豊かなワークショップになりました。11/3(木・祝)品川区青少年委員会とタイアップした“家族で楽しくつくろう!ダンボールアート”を開催(小学生親子 30 組 90 名/講師 10 名)。スーパーなどでいただいた段ボール箱を利用したプログラムで、ほとんどの参加者が人の入れる作品を制作いたしました。12/17(土)関西支部が大阪住まい情報センターとタイアップした「親子 de 体験セミナー/こどもたちと創る商店街」を開催(小学生親子 30 組/講師 9 名)。

そのほか、6/16(火)に建築会館ホールで開催された(一社)日本建築学会が主催する「子ども教育支援建築会議全体会議・シンポジウム」において、短い時間でしたが登壇し Soda 活動のプレゼンテーションを行いました。また、(一社)日本空間デザイン協会が主催する DSA「デザインがっこう」スペシャルイベント“ギャラクシティー・スペースあすれちつくをクリスマスツリーに変身させよう計画”や新松戸西小学校でのデザインがっこう・ワークショップに参加。相互の活動協力と交流を図っています。

そして現在進めているのが、Soda 本の編纂です。これまでの活動を総括し、JCD の社会貢献活動を広く周知してもらうことを目的とし、2017 年 5 月末の出版を目指しています。

特筆すべきは東北支部での開催が実現したことで、少しシャイな子供たちが制作する驚くほど完

成度の高い作品が印象的でした。今後とも全国での継続的な開催を目したいと思います。また、六本木ミッドタウンで開催したワークショップのように、街に飛び出した“屋台型”ワークショップについても可能性を感じました。今年度は全国で約 130 名(延べ約 220 名)の講師が参加、約 900 名を対象とした活動になりました。素材提供をしていただき賛助会員の皆様、いつも本当にありがとうございます。

③シンポジウム委員会（委員長：窪田茂）

■SECTION58 の開催

2017 年 2 月 21 日（火）会場：五反田デザインセンターにおいて、SECTION58 の開催を致しました。

スピーカーは、放送作家であり、様々なブランディングを手掛けるオレンジアンドパートナーズ代表でもある小山薫堂さんと、同じグループ会社であり、デザインを切り口にプロジェクトをプロデュースするジョージクリエイティブカンパニーの天野譲滋さんをお招きし、「場所がメディアになる企画」というテーマでお話しを頂きました。

マスメディアに関わる小山薫堂さんが、これからは場所がメディアになっていくというお話しは、プロジェクトに関わる人々だけではなく、そこを体験する人たちをも巻き込みながら、全ての人が WinWin の関係になっていくというプロジェクトのお話しを頂き、我々デザインを行う者にとって、新しい発見と気づきの連続となるような会になりました。

今回は 200 席の募集に対し、数日で締め切りになるという反応の良さで、結果、関係者も含め会場は 200 人を超える人が集まり、大盛況となりました。会場は、東京デザインセンター（五反田）のガレリアホールを、会場費無料、設備費有料でお借りする事ができた事と、賛助会員 13 社からの協賛を頂きましたので、聴衆料無料で開催、懇親会、打上げを開催しても、経費的には黒字化ができております。

また今回より、WEB にて事前申込み制にした事で、無料にも関わらず、欠席者が少なかったように感じております。これは、今後も続けていきたいと考えております。

④広報委員会（委員長：飯島直樹）

1. 広報委員会は JCD 組織変更に伴い、JCD 機関誌「SHOKANKY084」の編集・発行を実施した。掲載内容は①JCD デザインアワード 2016 の結果レポート②そして年鑑において発足させたアワードレビュー（高橋正明氏による批評）を全文③JCD プロダクトアワードの審査結果④建築家大野力氏のインタビュー記事を掲載した。次年度からこの冊子の普及拡大をめざし編集方針を改訂する予定であり、会員皆様からのご意見を募集します。
2. 年度末に浮上した「Spatial Design Concierge of Cool Japan」のサイト立ち上げ JCD として協力した。（すでにサイト発信済み、JCD HP からリンクできます）JCD アワード受賞作を中心に 25 作品を推薦し、格物件のレビューを投稿しました。クライアント許可待ち作品もあり現在は 12 案件が掲載中で、今後増加します。内閣府事業との接点を作った事は、JCD の広報に

-大きな前進となりました。

3. 国内各所で催されるイベントに、JCDを紹介するパンフレットが無かったので（あっても古い）、コンパクトで簡単明瞭なパンフレットを作成しました。
4. SNS（フェイスブックなど）で、JCDアワード、シンポジウム SECTION、授賞式パーティ、などを頻繁に告知。従来のDMにかわる伝達手段として活用した。
5. JIPA からの相談申し送り事項にあった「インテリア関係団体のアライアンス立ち上げ」に協力。具体的な活動、成果目標は次年度以降だが、2016 年末に合同忘年会を開催した。当面は JCD の「広報」案件として関与予定。

⑤国際委員会（委員長：武石正宣）

今年度の国際委員会の活動を報告致します。

今年度はAPSDAのアソシエート化に対する業務、引き続きJCDのデザイン賞に対する応募のプロモーション。そして台湾においてのイーストギャザリング参加が主なものとなりました。

APSDAへの参加。

9月に行われた、アデレードでのAPSDAチェアマン会議において、APSDAをアライアンスから、アソシエーション（協会）に移行する会議がありました。長谷川理事長のサインも行き、日本は正式にJCDでAPSDAに参加する事になります。他の国の動向は、ほとんどの参加国がサインを行う中、韓国のKOSIDはまったく反応を示さないため不参加に。シンガポールは、国の認定団体が2つあるため、各国の代表団体は1つという規約があるため、年を越して調整との事。正式には今年度の4月にアソシエート化をするための最終調整業務が行われています。

イーストギャザリング

今年は台湾の開催になったイーストギャザリングですが大変な盛況のうちに幕を閉じました。今回は、台湾、香港、日本の三か国の初めての開催でしたが、聴衆も300人ほどの若いデザイナーや学生が集まりました。次回は香港での開催予定ですが、楽しみにしています。

JCDデザインアワードの国際化

去年のシンガポールのメゾン・エ・オブジェや、今年の台北のイーストギャザリングでの告知で笠原デザイン賞委員長の告知で海外からの応募が増えている手応えがあります。来期からのデザインアワードのあり方によっては引き続き告知をしていきたいと考えています。

⑥賛助委員会（委員長：森川 一）

当委員会は、正会員と賛助会員の相互のコミュニケーションを活性化させ、JCDの社会的地位の向上を図るために、平成15年度に設置された委員会です。本年は賛助会員3社から10社へ増やし、正会員3名と合わせて委員会を構成しました。13年目の平成28年度は、「更なる変革期」

と位置づけ、以下の項目を企画・推進してまいりました。

1. 賛助会員の本部・各支部連絡者名簿の更新

本部、各支部からの各種連絡事項の賛助会員の窓口となる連絡者の名簿を随時更新し、最新版を本部、各支部にて活用できるよう推進しました。今年度も随時、賛助会員各社の名簿の電子化を本部事務局にて図ってもらいましたので継続して、更新見直しがし易くなっております。

2. JCD Product of the year 2017 の実施

JCD Product of the year は、関西支部から提案がありました、「賛助会員会社はその年の一押しの商品を応募、正会員が投票し評価する」イベントです。前回は 10 年目ということで、かなりの盛り上がりを見せましたが、今年度は、賛助会員からの応募が 25 点というかなり少ない状況でした。また投票に関しては正会員の 292 名からあり、投票率は 70% という結果でした。本年度は昨年の反動で出品される企業が減ってしまっています。来年度以降、賛助企業の協力を再度いただくよう努力して参ります。

賛助会員におかれましては、新商品の正会員への認知に役立ちますし、ファイル形式にしたことで、次回まで 1 年間正会員の手元においていただけますので奮って応募をよろしく願います。

尚、今後は活動の幅を広げるためにも非会員の参加も視野に入れた行動を行います。プロダクトアワードに関しては賛助企業会員の product of the year とバッティングしないよう、賛助会員のメリットを広げる施策を考えなければなりません。

また、ここ 10 年に亘る一連の作業で正会員および賛助会員の方の E メールアドレスが把握でき、今後のインターネットを活用した情報連絡網構築の礎になりました。一部正会員の方でまだ E メールアドレスを本部事務局にご連絡されていない方は、引き続きスピードアップ、コスト削減のために随時、事務局へご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

3. 賛助会員の拡大

引き続き JCD の発展への協力のため賛助会社の加入拡大のため、PR 活動を進めますが、過去より、日頃正会員皆様のお仕事上での繋がりのお声かけの協力が非常に大きいため引き続きの勧誘をお願いします。現在、今年度末で全国賛助 65 社、支部賛助 75 社となっております。

⑦空間委員会（委員長：鹿目久美子）

⑧交流委員会（委員長：折原美紀）

両委員会は平成 28 年 11 月 12 日第 2 回定例理事会で決議し、発足した新設委員会であり、平成 28 年度の具体的活動はありません。

(2) 支部統括部（部長：小坂 竜）

(支部長会議議長：加藤博正)

平成28年度の支部長会議は、デザイナーにとってデザイン料をいかに請求するかの検討がされた。

現在参考になるJCDデザイン料を設定していますが、この料率も古くなり新たにデザイン料率を作り直したいと考えて居ります。

それに先立ち、各支部でJCDデザイン料の採用状況やデザイン料の請求の基準は何であるかを各支部の支部長より意見を求めた。

①北海道支部（支部長：高橋 恵）

平成 28 年度の事業方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえる活動・仲間づくり」

運営会議

【概要】正会員同士の交流と北海道支部の活動について議論を行う。

【日程】隔月 第一水曜日に開催しました。

北海道支部総会

【概要】平成 27 年度活動及び収支報告、平成 27 年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】平成 28 年 4 月 22 日（金） プレミアホテル-TSUBAKI-にて

SAPPORO DESIGN WEEK 2016 への参加

【共通日程】10 月 19 日～23 日

【メイン会場】札幌駅前地下歩行空間

【概要】第 3 回 JCD 北海道デザインアワード、3 団体パネル展を開催

【日程】会期中の応募作品のパネル展

10 月 23 日（日） 最優秀賞の発表と授賞式を開催

【会場】札幌駅前通地下歩行空間札幌駅側イベントスペースにて

【ゲスト】審査委員長の飯島氏と審査委員の武石氏をお迎えし受賞者のプレゼンに対する講評と全体の総評をいただきました。

【成果】14 点の応募を頂き、パネル展も開催する事で JCD のことを知って頂く良い機会になりました。今回は、事前に飯島さん、武石さん、笠原さん 窪田さんに審査をお願いし PDF にてデータを送り受賞作品を決めて頂きました。

応募点数は、少なかったですが来年以降も続けていけるように頑張っていこうと思っております。

また、飯島さんと武石さんお 2 人にきて頂いたことにより懇親会、二次会とご参加頂き会員と受賞者とデザイン談義を繰り広げることが出来ました。

ワークショップ

【概要】 デザインで札幌をつくろうワークショップ miniSODA

6 団体が一つの開場でワークショップを開催しました。

【日程】 10 月 23 日（日）

【会場】 札幌駅前通地下歩行空間チ・カ・ホキタサン HIROBA にて

【成果】 小学生高学年を対象に 1 時間で簡単な模型を会員と一緒に作りました。

1 時間等短い時間ではありましたが、一緒に作り交流を深めながらデザインやお店を作る楽しさを知ってもらい良い機会になりました。

一般のひとが多く通るチ・カ・ホキタサン HIROBA にて行うことで

一般の方に JCD を知ってもらい機会にもなったと思います。

Soda 桑園小学校

【概要】 デザインを通しての社会活動。おみせづくりをテーマに自由にデザイン作業に取り組む。

専門家が講評・評価し、子供達に新たな発見や発想の機会を見いださせる。

【日程】 平成 28 年 一回目 12 月 1 日 二回目 12 月 6 日 三回目 12 月 13 日

【会場】 桑園小学校 札幌市中央区北 8 条西 17 丁目

【対象】 6 年生 130 名 16 チーム

【講師】 JCD 会員 8 名 ボランティア 2 名 その他素材ご提供企業多数

【成果】 デザイン、仕事の楽しさを伝え、店舗の模型制作を通して楽しく作業してもらいました。プレゼンの大切さも理解してもらい、プレゼンテーションにも凝って発表してくれました。

クリスマスパーティー

【日程】 平成 27 年 12 月 14 日（水）

【参加人数】 130 名程度

【会場】 キングムー 札幌市中央区

【成果】 毎年 JCD と HIPA 北海道インテリアプランナー協会との合同の恒例の行事ですが今年は、HICA 北海道インテリアコーディネーター協会と HAD 北海道デザイン協議会も参加して頂き 4 団体合同で行いました。

各団体が声かけをしてキングムーを貸し切り 130 名もの多くの方に集まってもらいました。

年に一度、おしゃれをしてデザイン業界の方々が集まり盛り上がる会になり、今後とも続いてくれたらと思っています。

②東北支部（支部長：大塚真司）

●第 1 回東北支部役員会議

- ・平成 28 年度定時総会報告
- ・平成 28 年度東北支部予算

- ・年間スケジュールを確認し、今年度中に Soda ワークショップを実施する事で役員承認され、それに伴い予算編成をすることで一致

【日程】平成 28 年 7 月 15 日

【場所】東北支部事務局 株式会社アルコア事務所

【出席人数】支部役員 7 名 事務局 1 名

●東京支部 Soda 活動視察

- ・28 年度内東北支部開催に向けて、夏休みに行われた東京支部 Soda 活動ワークショップを視察

【日程】平成 28 年 8 月 16 日

【場所】東京ミッドタウン

【参加者】支部長 大塚

●第 2 回東北支部役員会

- ・東北支部通常総会の日程及び議案決定
- ・今期スケジュール調整
- ・Soda 開催進捗報告

【日程】平成 28 年 9 月 30 日

【場所】東北支部事務局 株式会社アルコア事務所

【出席人数】支部役員 7 名 事務局 1 名

●Soda ワークショップ開催予定小学校訪問

- ・東北支部での開催が 2009 年以来の為、新藤 Soda 委員長に同行して頂き、東松島市鳴瀬桜華小学校へ改めて主旨、詳細説明

【日程】平成 28 年 10 月 11 日

【場所】東松島市鳴瀬桜華小学校

【出席人数】支部会員 4 名 新藤委員長

●Soda 委員会開催

- ・10 日、Soda 委員会と賛助委員会にてスケジュール確認及び材料依頼メーカー決定
- ・15 日、各賛助会員への説明会及び材料調達をお願い

【日程】平成 28 年 10 月 12 日 10 月 15 日

【場所】東北支部事務局 株式会社アルコア事務所

【出席人数】支部会員 4 名 賛助委員会 2 名 賛助会員 5 名

●東北支部通常総会

- ・通常総会の他、Soda 新藤委員長に講演を依頼し、ワークショップの意義と役目及び作品例などを紹介
- ・賛助会員 3 社より商品 PR
- ・新藤委員長を含め懇親会開催 正会員、賛助会員の交流

【日程】平成 28 年 11 月 11 日

【場所】仙台市広瀬通東武ビル 会議室

【出席人数】46名

●Soda ワークショップ開催

- ・東日本大震災の影響により統合された東松島市鳴瀬桜華小学校6年生46名を対象に、ワークショップを開催 東京支部より新藤委員長はじめ多くのご支援を頂き大成功

【日程】平成28年12月20日

【場所】東松島市鳴瀬桜華小学校 仮設校舎

【出席人数】東北支部正会員7名 東京支部5名 賛助会員9名

●デザインキャラバン・デザイン発表会 I N 福島

- ・福島地区株式会社ピオ・プランナーズ様の全面協力のもと、アイカ工業株式会社福島工場見学

- ・デザイン発表会（山形地区 小泉俊哉氏・福島地区 星玲子氏）を開催

- ・郡山市内で懇親会を開催

【日程】平成29年2月24日

【場所】株式会社ピオ・プランナーズ本社会議室

【出席人数】東北支部正会員14名 賛助会員10名 ピオ・プランナーズスタッフ6名

●Soda ワークショップアフターフォロー

- ・12月20日にSoda ワークショップにて制作された作品を卒業式前約1週間前から、卒業式父兄控室に展示、その際に各ショップ色に合わせた照明器具を賛助会員より協賛、設置

【日程】平成29年3月14日

【場所】東松島市鳴瀬桜華小学校 仮設校舎 卒業式父兄控室

③関東支部（支部長：小田 秀樹）

* 関東支部の広報と各委員会活動の活性化

今期は、関東支部のHPと機関誌の再構築を行ない、広報活動を活発にして情報を速やかに会員に提供する。各委員会の活動がマンネリ化に成らない様に、新しい委員を集い、委員会活動の活性化を図る。

イベント参加者には、一般参加者も含めJCDの活動をアピールして会員数の増強を図る。

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長

今年初めて研究セミナーの委員長を努めさせていただきました。何かとご不便をおかけ致しましたが、恙なくトークを開催できたかと思えます。本年度は4回開催

1) 第1回 6月15日 「鈴木太郎の世界」

トークゲスト：鈴木太郎 東京芸術大学美術学部デザイン科准教授

場所：オカムラ Vitra ショールーム 21名参加

2) 第2回 9月16日 「軍艦島」急性近代建築不感症

トークゲスト：新藤力（有）POWER 代表 JCD 理事

場所：オカムラ Vitra ショールーム 25名参加

3) 第3回 11月18日 「温泉建築史」×鍋塾

トークゲスト：海老沢宏（有）海老沢宏環境工房代表 JID 理事

場所：JCD 本部事務局 18名参加

※鍋塾とのコラボレーション 星理事主体で行いました。

4) 第4回 2017年2月23日「完成までのプロセス」JCD アワード 2016 受賞品

トークゲスト：谷尻誠・吉田愛（株）サポーズデザインオフィス

長岡勉（株）POINT

場所：ハーフハーフ（長岡氏主幹によるシェアスペース） 25名参加

■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長
本間克典副委員長

1) ほぼ月1回（4/12, 5/10, 6/14, 7/12, 9/13, 10/11, 11/8, 1/10, 3/14）の定例委員会を開催
JCD 正会員、賛助会員相互の向上のための意見交換を行った。

2) 4、5、1月の定例委員会は Soda 委員会との合同委員会とし委員会相互及び正会員との交流を図った。

3) 賛助会員相互の親睦のため8月5日（金）熱海海上花火見物会を、また9月10日（土）神奈川県小田原市「なみのこ村」にてバーベキュー会を催した。

4) 広報委員会と連携して、関東支部機関紙に賛助会員企業の紹介記事を掲載した。

5) 全国賛助委員会にオブザーバーとして関東支部賛助委員長及び賛助会員数名が参加協力した。

6) 平成29年3月1日現在、支部賛助企業は35社となっています。

■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

※機関誌、28年度は3刊発行いたしました。

1) 1回目（7月末発行）

総会特集・トーク・プロダクトアワード・Soda 委員会報告・あのことろ～JCD の重鎮
他支部の活動予定など

2) 2回目（11月中旬発行・夏、秋号）

トーク・会員の近況・クラブ活動報告・夏のパーティー報告・あのことろ～JCD の重鎮
・夏のパーティー報告・Soda 委員会報告・賛助委員会活動報告・支部会員募集広告
・新人会員紹介・他支部の活動予定など

3) 3回目（3月中旬発行・冬、春号）トーク（海老沢氏）・会員の近況（西脇一郎氏）

クラブ活動報告・冬のパーティー報告・あのことろ～JCD の重鎮（藤井栄一氏）・Soda 活
動報告（品川正之氏）・支部会員募集広告・新人会員、支部会員の紹介

※広告枠に、賛助会員や正会員のお店などの広告を掲載いただきました。

■メディア委員会：吉田淳一委員長、水谷晶人副委員長、中村茂雄委員

- 1) デザインを一新したホームページの不具合の調整をしながら情報の共有化を活性
する事ができた。
- 2) TOPページに正会員の作品をスライドローテーションとして流して、体外的なインフォ
メーションも可能になった。
- 3) Face book画面をTOPページに貼り、イベント情報など自動更新出来るようになった。
- 4) ブログやメールマガジンの役割を徐々にFace book画面の活用により、変換出来る
ようになった。
- 5) 正会員のHP掲載数を増やし、ネットワークの連動性を高める事が出来た。

■交流委員会：折原美紀委員長、窪田茂副委員長、雲野一鮮副委員長

- 1) 「夏のパーティー」を8月1日表参道ル・コンテにて前年同様ゲストを迎えてのトーク
ショーを開催した。今回は若手建築家 シナトの大野力さんをお迎えし、JR 新宿駅
NEWoMan の設計秘話などを窪田副委員長とセッションして大いに会場をわかせた。
※会員・同伴：127名・ビジター：3名・25歳以下：5名 学生：7名・ブース：8社
人数：150名、過去最高の動員数を記録した。
- 2) 勉強会を兼ねた夏のパーティーとは対比的に「冬のパーティー」は12月8日渋谷パ
セラリゾーツグランデにて4バンド出演する豪華なライブパーティーを開催した。
JCD 賛助会員「奥バンド」、日建スペースデザインの「片山工務店バンド」「JCD バンド」
また JCD 関西支部からも「45.3+ウィンナーガールズ」がゲスト参加。
会員・同伴が150名・30歳以下が20名、計170名と夏のトラックレコードを
更新でき新会員増強にも寄与できたかなと思っております。

■特別委員会：星明臣委員長

- 1) 支部研修旅行を、2月26日～27日 に実施いたしました。会員など17名の方に参加頂
きました。26日宵には、玉造温泉「松の湯」にて、中国支部会員の方など10名の参加
を得て、支部間交流会を行い、相互の親睦を深めることが出来ました。出雲大社～足立
美術館～松江の街並など「宍道湖・中海」を周る歴史や風土・地域文化などの知見を深
めることが出来ました。尚、今回の研修旅行の計画～実施実務は、大滝・品川両会員に
あたって頂きました。

④中部支部（支部長： 不破淳二）

5月

●「JCD 平成 28 年度定時総会、第 1 回臨時理事会」

-5月28日（土）/東京芸術大学 美術学部第1講義室

○ 定時総会時に支部功労賞の授賞式があり大国護会員、高桑賛助会員の表彰が行われた。

6月

●「JCD 第 1 回支部会議」

-6月1日（水）/ナディアパーク 7F ラボ 2 号会議室

- デザイントリプレックス 1 2 (JCD, DSA, SDA /3 団体) 反省会
 - ・今回のシンポジウムは「左官・挾土秀平氏」の大河ドラマ「真田丸」の知名度で 160 名以上の観客動員がはかれた。→講演者で動員数が大きく変化する。

- 「JCD 中部支部総会、第 2 回支部会議」

- 6 月 29 日 (水) /3 2 オーチャード (ビストロ) 貸切り 正会員、賛助会員 34 名参加
- 東京での全国総会の報告ならびに今年度中部支部の活動報告・活動計画
- 支部にて支部功労賞 (大国護、高桑両氏) の受賞発表と記念品贈呈式をおこなう。

8 月

- 「JCD 第 3 回支部会議」

- 8 月 29 日 (月) /ナディアパーク 7F ラボ 2 号会議室
- ・会員数の増強についての協議、支部アワード開催について

9 月

- 「JCD 第 4 回支部会議」

- 9 月 27 日 (火) /ナディアパーク 7F ラボ 2 号会議室
- ・支部アワードの詳細内容協議。要項書作成。賛助会員との親睦パーティの計画

- デザイントリプレックス 1 3 (JCD, DSA, SDA /3 団体) 開催の準備委員会会議

- 9 月 15 日 (木) /ナディアパーク 7F ラボ 2 号会議室

10 月

- 「JCD 第 5 回支部会議」

- 10 月 26 日 (水) /ナディアパーク 7F ラボ 2 号会議室
- ・支部アワード中間報告、デトリ 1 3 スケジュールと講演者候補の報告

- 「メッセナゴヤ 2016 名古屋商工会議所+CCDO 中部デザイン団体協議会」

『“それはデザイナーに聞け!”』(デザインなんでも無料相談会)

- 10 月 26 日 (水) ~ 29 日 (土) /名古屋港金城埠頭ポートメッセなごや第 2 展示館
- ・中部 12 のデザイン団体 CCDO と名古屋商工会議所との協同事業で今年第 6 回目の開催となる。

- 10/31 中部支部デザインアワード応募開始

11 月

- 11/11 「JCD デザインアワード 2016 贈賞式」出席 信濃町、明治記念館

- 11/12 臨時理事会 東京、御茶ノ水 JCD 本部

- デトリ 13 委員会 11 月 17 日 (木) /ナディアパーク 7F ラボ 2 号会議室
- /来年開催のシンポジウムに迎える講演者の人選を協議

- 11/30 中部支部デザインアワード応募締切り

12 月

- 12/7 JCD 中部支部会議 6 /ナディアパーク 7F ラボ 2 号会議室

- CCDO (中部デザイン団体協議会) 理事会 12 月 14 日 (水)

- /ナディアパーク 7F ラボ 10 号会議室 /委員会、各協会、活動報告

●12/末 中部支部デザインアワード審査（写真審査）

29年 1月

○デトリ 13 委員会 1月6日（金）/ナディアパーク 7F ラボ2会議室

●1/12 JCD 中部支部会議 7 /ナディアパーク 7F ラボ2会議室

●1/14 中部支部デザインアワード審査（現地調査）

○デトリ 13 委員会 1月23日（月）/ナディアパーク 7F ラボ2会議室

●1/28 JCD 中部支部「北陸シンポジウム」参加 支部長不破、西川会員2名参加

2月

●2/2 「中部支部デザインアワード贈賞式&パーティ」

・32オーチャード（ビストロ）バンケット貸切り 正会員、賛助会員36名参加

○デトリ 13 委員会 2月9日（木）/ナディアパーク 7F ラボ2号会議室

○デトリ 13 委員会 2月20日（月）/ナディアパーク 7F ラボ2号会議室

（JCD, DSA, SDA /3 団体）準備委員会最終打合せと役割分担確認

○デザイントリプレックス13開催 ・エキシビション：2月24日（金）～3月5日（日）迄
栄セントラルパーク北側壁面 セントラルギャラリーにて
「日本のデザイン賞展 2016」 および 「中部支部アワード 2016」 受賞作品併設
展示

○CCDO（中部デザイン団体協議会）理事会 2月28日（水） ・委員会、各協会、活動報告

3月

○デザイントリプレックス13開催

・シンポジウム : 3月2日（木） /栄ガスビル5階（キングルーム）

・半田ミツカンミュージアム（SDA, DSA, JCD、3 団体受賞作品）をプロデュースされた
電通ライブの内藤 純氏、神志名 剛氏による「体験のデザイン」セミナーを開催。
2010年初期提案のプレゼン映像から5年を経た2015竣工時のミュージアム映像の説明
現在の会場シアターで流される映像の数々は美しく感動する。

<入場料：¥1,000- > 約120名の参加で盛況となる。

●3/18 臨時理事会 東京、御茶ノ水 JCD 本部

・h28年度下期活動報告、h29年度活動計画、支部収支報告

⑤関西支部（支部長：中村裕輔）

1. 支部集会開催（賛助会員PR会・懇親会）6/20 レストランコンタクトにて

【基本方針】「集^{つど}ってたのしい」 JCD 関西の復活！ まずは交流！ コミュニケーションの活
性化！

- ・イベントの質的、量的拡大（セミナー、アワード、パーティ等の充実）
- ・会員システムの刷新（シニア会員、学生会員、ジュニア会員）

・委員会体制のスリム化

【委員会体制】

- (仮称) 研究委員会・SODA 事業 12/17 住まい情報センタータイアップセミナーの実施
・学校・教育関連施設での活動・デザイン団体連携活動 「大阪デザインサロン」「関西学生シンポジウム」
- (仮称) 広報委員会 ・HP、Facebook の継続した更新・強化・JCD・KANSAI の発行
- (仮称) 交流委員会・ビアパーティ、クリスマスパーティをはじめ各種パーティの開催
・各種セミナー・懇親会の開催 (学生向けセミナー、シニア会員によるセミナー等)
- (仮称) 賛助委員会・正会員との交流の強化
参加者 53 名 (正会員 17 名 賛助会員 35 名(18 社) 招待 1 名) 展示会出展 14 社
- 2. ビアパーティ開催 8/29 OAP タワー2F (バーカロ・バカージョ)
今後の活動内容の報告・賛助会社の紹介・学生参加者の紹介
参加者 62 名 (正会員 19 名 賛助会員 28 名(16 社) 一般 4 名 学生 11 名)
- 3. 関西学生シンポジウムの開催 9/27 サンワカンパニー (グランフロント大阪)
4 団体共催による学生シンポジウム。
今年のテーマは「メイド イン ジャパン・クールジャパンで世界に発信=日本らしさ」
大阪芸大・摂南大学・神戸女子大学・大阪モード学園の 4 校がプレゼンテーション。
JCD コメンテーターとして東理事が参加
- 4. クリスマスイベント「空間の未来へ」の開催 12/6 ライブハウス・ガンズ・トイトイトイ
賛助会員商品展示会 賛助会員 16 社による商品 PR 会
トークセッション 「舞台と空間の関係」 舞台関係の近藤和美氏・井上憲次氏・豊川忠宏氏
をお招きして橋本健二氏モデレーターによるトークセッション
ライブ 乃村工藝社を中心としたデザイナー・バンドの演奏
参加者 131 名 (正会員 17 名 賛助会員 71 名(19 社) 一般 41 名 学
生 2 名)
- 5. 4 団体連合 「日本の空間デザイン展」12/15~12/19
サンワカンパニーショールーム (グランフロント大阪)
来場者 70 名
- 6. SODA 事業 住まい情報センター・タイアップ事業
「親子 de 体験セミナーこどもたちと創る商店街」 12/17
デザイナーの仕事紹介&天神橋筋商店街見学&模型のワークショップ
参加者 53 名 (小学生 29 名、保護者 24 名)
- 7. その他活動 ・ JCD KANSAI の発刊
・大阪デザインセンター主催「SENBA サロン」の協力 (年間 5 回開催)
・「第 8 回大阪市あきないグランプリ」審査員として参加
- 8. 受賞等 大阪府商工表彰 (中村裕輔)

⑥中国支部（支部長：深田勝哉）

28年度の中国支部活動方針は「地域に必要とされるデザイン」をテーマに活動してきました。会員活動の環境作り、賛助会員と多くの会員が参加することができたと考えています。秋に開催した広島デザインデイズ事業は、地元デザイン団体、大学、専門学校などと協力しながら地域のデザイン活動の中心的な位置づけとなっています。この事業を今後は中国5県にまで広げたいと考えています。

28年度事業計画内容

- 組織改革 今まで活動の中心となっている会員と、次の世代を担っていく若い会員で新たな組織を作り、若い会員が活動しやすい環境づくりが少しずつ出来てきました。
- 地域活動 広島で続けてきているデザインイベント「広島デザインデイズ」をさらにバージョンアップし、各地元との交流、そして広島・岡山を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学、専門学校、地元商会などとの交流を図りながら地元根付いたデザイン活動になりました。
- 例会活動 本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動予定打のち合わせなどに加え、毎回新しいデザインを中心としたセミナー。そして、デザインの考え方をぶつけ合う場として毎回盛りあがっています。
- 親睦活動 中国支部内での会員相互の親睦を目的とし、イベントの計画をしました。
 - ※ 通年一例会後、賛助会員によるミニセミナー、各地での懇親会。
 - ※ 冬---他地域のデザイナーとの交流会「鍋塾」の計画。

スケジュール

- 5月13日 28年度支部総会、事業計画発表等について岡山市内にて開催
- 5月28日 28年度定時総会（東京）への参加
- 7月15日 第1回中国支部例会、総会報告等・賛助会員によるミニセミナーを福山にて開催
 - 〃 22日 広島デザインデイズ 2016 第一回準備委員会を広島にて開催
- 8月06日 広島デザインデイズ 2016 第二回準備委員会を広島にて開催
- 9月16日 第2回中国支部例会・ビアパーティーを広島にて開催
- 9月23日 広島デザインデイズ 2016 第三回準備委員会を広島にて開催
- 10月14日 広島デザインデイズ 2016 第四回準備委員会を広島にて開催
- 11月19日 広島デザインデイズ 2016 JCDアワード展示・学生によるワークショップ
 - 〃 20日 〃 長谷川理事長によるデザインセミナー、懇親会
- 12月9日 第3回中国支部例会・大忘年会を岡山で開催
- 1月20日 福山市「ぎんがの郷小学校」にて soda 出前授業
- 2月26日 島根県松江市内にて鍋塾 & 関東支部との交流会を開催

⑦四国支部（支部長：長尾勝彦）

支部長任命から早1年、支部会員が4名増え、今までの委員長会をランチ会議として気軽に会議に出席できる雰囲気にする事で正会員、支部会員、賛助会員の参加者が増え楽しい環境になってきたなと考えます。

5月28日、東京藝術大学美術学部第一講堂にて定例理事会と定時総会出席

四国支部からは前支部長、新支部長、新副支部長と特別功労賞の寒川徹司氏と5名が出席

6月10日、海の見えるレストランにて第1回目の例会が17名の参加者で開催

2016年の活動計画について、瀬戸内国際芸術祭、香港マカオ研修ツアー、SHIKOKUデザインフェスティバル5団体共同、JCD+大光電機+宮地電機トークセッション、Soda事業等基本事業計画を立てました。

7月6日、うだるような猛暑の中、国際ホテルにて10名の参加者でランチ会議開催

議題、JCD+大光電機+宮地電機トークセッションについて、

8月26日、サンポート高松ベイカフェ・アゼリアにて賛助企業とJCDがコラボレーションした、JCD+大光電機+宮地電機トークセッションパーティ開催、最新情報の勉強会になりました。

9月17日、アゼリアにて13名の参加でランチ会議開催、議題、JCDパンフレット活用、瀬戸内国際芸術祭+女木島ビーチアパート開催決定、その後高松青年会議所創立60周年安藤忠雄基調講演

10月15日、抜けるような青空の下、瀬戸内国際芸術祭+女木島ビーチアパート「食」のパーティが17名の参加者にて開催、

11月11日、明治記念館にて170名の出席者でJCDデザインアワード贈賞式出席

11月12日、JCD事務局本部にて、全国支部長会議と定例理事会出席

11月25日、ミケイラにて17名の参加でランチ会議開催、定時理事会報告、SHIKOKUデザインフェスティバル、川島猛アートファクトリークリスマスパーティ案内、Soda事業、多度津町並み研究、会員増強について

12月17日、川島猛アートファクトリーにて、川島猛現代アート作品の第1回お披露目会 IN クリスマスパーティにたくさんの仲間が集まり、素晴らしいロケーションの中で開催

12月28日、仲見世にて合同忘年会30名の集まりで開催、議題 SHIKOKUデザインフェスティバル、川島猛アートファクトリー、お花見会、沖縄総会、Soda事業、古民家研究会など

1月21、22日、SHIKOKUデザインフェスティバル2017が寒空の中、高松レッツホールにて開催、2回目となり5団体が結束し合同パネル展、オムニバス映画、スープサービス、トークセッションと各団体との結束力がつきました。

1月23日、1300年の歴史ある、神田明神にて賀詞交歓会、140名の参加で盛大に行われ、支部からは支部長、副支部長2名が出席

⑧九州支部（支部長：原田啓二）

昨年の4月、皆様ご存知の熊本地震が発生しました。九州支部の会員も熊本に三名おられますが皆、事務所や住居は壊滅的な状況となりました。

幸い命に別状はありませんでしたが、震災前の日常を取り戻す努力を、今も続けられています。

す。又、被災した会員の為に全国の会員の方々から沢山の義援金をいただき、大変ありがとうございました。深くお礼申し上げます。

(1) 業務委員会

○月例会の開催（毎月第三金曜日開催）

28年度から会場を大光電機さんのセミナールームをお借りし開催しました。会議開始前30分は、照明セミナーや賛助会員の商品案内等を行っていただき、例会終了後は引き続き、近くの飲食店で交流会を頻繁に行い、コミュニケーションをとりました。

○業界 EXPO2016 への参加（アクロスホール 12月）

学校法人九州安達学園が開催する、学生の為の就職支援活動に参加しました。空間デザインやインテリアデザイン業界の実状や、仕事のやりがい等、お話をさせていただきました。

(2) 交流委員会

○デザインスクールキャラバン開催（南当仁小学校 11月）

今回で18回目となるデザインスクールキャラバンですが、テーマは、「デザインで町を住み良くしよう」です。今回は前授業を二回行い、新しい街のコンセプトづくりや街づくりのルールなどを決め、デザインすることの意味合いなどを通じた授業となりました。

○DESIGN EXPO 2016 熊本への参加（熊本 10月）

商施連からのお誘いを受け、「DESIGN EXPO」に参加致しました。各セミナーやフォーラム等、大変興味深い内容でした。

同時に、熊本地震の被災地を視察いたしました。益城町では、未だビニールハウスで生活している人もいて、復旧にはまだほど遠く、とても考えさせられる視察となりました。夜は主催者や商施連の方々、そして熊本在中の会員とともに親睦会を行いました。

○デザインアワードパネル展（パナソニックショールーム 12月）

パナソニックショールームをお借りして、SDA 合同のパネル展を行いました。会場の立地もよく、入場者数も増えました。

○ビアパーティ（ホテルオークラ地下 7月）

7月の月例会は賛助会員とビアパーティを行い、17名の参加をいただきました。「夏はやっぱりビールでしょ」をテーマに、楽しい暑気払いとなりました。

(3) 広報委員会

○ホームページの見直しを進めています。支部会員ブログでは動画等取り入れながら、見やすいホームページを検討中です。又、Facebook や SNS 等、運営方法など模索中です。

<総括> 九州支部の活動の柱である、デザインスクールキャラバンも18年を迎え、毎回高い評価を頂いています。そして、DESIGN EXPO に参加させていただき、支部例会を熊本で開催できたことは大変意味のある事となりました。会員も少しずつではありますが、増員することができました。支部ホームページやフェイスブックの運営などについては、もう少し議論を重ねる必要があるようです。

⑨沖縄支部（支部長：山里健市）

- H28年4月 ◇支部定例会の開催
今年度の活動計画について 各委員会との意見交換
沖縄総会実行委員会の立上げ
- 5月 ◇インテリア産業協会・インテリアコーディネーター協会との交流会に参加。
今後のイベント等の 意見交換を行いました。
沖縄総会ミーティング（役割分担、意見交換等）
- 6月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
- 7月 ◇沖縄総会ミーティング
- 8月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
- 9月 ◇「夕涼み会 ボウリング&BBQ」開催（正会員・賛助会員・ゲスト）
目的としては、JCDの活動・役割を再発信し、親睦を深める。
約70名の参加があり、ざっくばらんな意見交換等を行う事ができ、賛助
会員の入会にもつながりました。
- 10月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
沖縄総会ミーティング
◇コンベンションセンターにて開催される「トータルリビングショー」へ
今年も参加。インテリア産業協会のブースにて JCD 沖縄支部は来場者の
子供達を対象に店舗模型を製作。3日間で 約100組の来場があり、引き
続き継続できるイベントとなっています。
- 12月 ◇支部定例会の開催
◇JCD忘年会(モノズクリガンバッタ2016)の開催。
建築・インテリア・グラフィックというカテゴリーを設け、約70名の
方々が参加。1年を振り返ると共に、新しいデザインコミュニティの場
(忘年会)として定着してきております。
- 2月 ◇支部定例会の開催
◇SODA ワークショップを 西原南小学校 6年生を対象に行いました。
児童数 63名を対象に 13グループに分かれ、本部から2名、インテリア
コーディネーター協会、インテリア産業協会の協力も頂き、予定通り開催
できました。今回は 地元紙 2紙にも取材して頂き、次年度の活動にも繋
がると思っております。

総 評

今回は、全国定時総会の開催地という事で 沖縄総会準備委員会(14名)を設け各委員共、

準備や各機関との調整等でかなりの部分に時間を費やしている為 SODA ワークショップについては、1 回しか開催できませんでした。

そんな中、トータルリビングショーで行う「子供達とのミニチュア模型づくり」は 3 回目の参加となり、各委員も慣れてきて、来場者への認知度も上がってきております。

沖縄総会を無事成功させ、次年度は、SODA を 1～2 回開催できるよう会員同士で情報・意見交換していきたいと思えます。

交流・イベント事業としては、企画・実行レベルも向上し、固定イベントも少しずつ定着してきましたので、JCD の認知度をあげながら正会員・賛助会員の入会へも繋げていきたいと思えます。

(3) 総務部 (部長：太細 通)

①財務委員会 (委員長：太細 通)

今年度の事業活動収入合計は、昨年度に比べ会費収入では正会員は若干減少して賛助会員数は増加しましたが、未収会費が増加したため約 40 万円、2%の減収となりました。また事業収入は東京開催に伴い総会収入は減少しましたが、各地での研修会、展示会、講習会が活発に行われ、また機関紙 SHOKANKYO への賛助会員の広告協賛いただき、約 65 万円の増になりました。

結果、事業活動収入合計では昨年度決算額より約 20 万円増、予算に対しても約 90 万円増の約 3,930 万円になりました。

事業活動支出合計は、昨年度に比べ事業費支出ではデザイン賞の設計奨励費が贈賞式会場の変更で約 70 万円減、国際交流費がミラノサローネ視察がなく約 30 万円減、研究会費が約 30 万円減、総会費用が東京開催に伴い約 80 万円減、管理費支出では総会の東京開催に伴い、旅費交通費が約 40 万円減、会議費が約 30 万円減となりました。一方、事業費支出として SODA 活動のセミナー育成費が約 50 万円増、研修会費が約 40 万円増、展示会費が約 20 万円増、講習会費が約 20 万円増とこれらの事業活動の活性化に伴い増になりました。結果事業活動支出合計では昨年度決算額より約 180 万円減、予算に対しても約 100 万円減の 3,610 万円となりました。

以上より、収支差額は昨年度決算額より約 200 万円増、予算に対しても約 190 万円増になり、約 320 万円の黒字を確保できました。

本部及び 9 支部を個別にみますと、本部と 6 支部は黒字を確保できました。残りの 3 支部は事業活性化により若干の赤字となりましたが前期繰越収支差額でカバーでき次期繰越収支差額は黒字を確保できました。しかしうち 2 支部は次期繰越収支差額が当期事業活動支出計の 1.4%、12.6%しかありませんので、累損にならないためにも今期は厳しい予算管理

が必要となります。

一般社団法人への移行4年度目としては、全体的に良い結果となりました。

②功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

1、JCD 功労者を各支部長からの推薦に基づき、選考。3月18日の理事会へ推挙する。

具体的には、中国支部推薦／支部功労賞：大光電機（株）中四国支店長 松永 高雄氏
関東支部推薦／ 全 社：ソリュート（株）代表取締役 奥 弘史氏
：（株）本間工芸 全 社 本間 克典氏
尚、特別功労者及び名誉会員の推薦は有りませんでした。

2、建設事業関係功労者表彰：昨年度、候補者として推薦しました、飯島直樹会員（前理事長）
が、7月 国交省大臣表彰を受けることが出来ました。

今年度も、寒川徹司会員（四国支部・評議員）を候補者として推薦しております。

「国交省大臣表彰」については、継続的に、候補者を推薦していきたいと考えております。

3、杉本名誉会員を「黄綬褒章」候補者として推薦しております。

3. その他会務に関する事項

（1）会務などの状況

総会（2回）

平成28年度定時総会

期日：平成28年5月28日 会場：東京藝術大学美術学部第1講義室
社員出席：240（内委任状74、議決権行使110）名

平成28年度第1回臨時総会

期日：平成28年5月28日 会場：東京藝術大学美術学部第1講義室
社員出席：240（内委任状74、議決権行使110）名

理事会（4回）

第1回定例理事会 期日：平成28年5月28日

会場：東京藝術大学美術学部第2講義室
出席理事：20名

第1回臨時理事会 期日：平成28年5月28日

会場：東京藝術大学美術学部第2講義室

出席理事：19名

第2回定例理事会 期日：平成28年11月12日 会場：JCD事務局

出席理事：19名

第2回臨時理事会 期日：平成29年3月18日 会場：JCD事務局

出席理事：21名

(2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同)において、活動に担当を派遣し企画、JAPAN SHOP 2017に参加した。また、関西インテリアプランナー協会「～メゾン・エ・オブジェ 2016 9月「パリ・デザインウィーク 2016」出展イベント～『JAPAN STYLE&DESIGN NOW (日本のデザインの今)～陰翳礼讃～』」、NPOユニバーサルイベント協会「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」、日本インテリアプランナー協会「IPEC 2016」、日本インテリアデザイナー協会「World Interiors Week 2017 in Japan」等への後援や、日本能率協会「第2回店舗・施設展」、近畿屋外広告美術組合連合会「SIGN EXPO 2017」、日本経済新聞社「JAPAN SHOP 2017」「建築・建材展 2017」「ライティングフェア 2017」、日本能率協会「第45回国際ホテル・レストランショー」等への協賛を行った。

4. 会員の移動状況

	27年度期末	年度内増	年度内減	28年度期末
正会員	406名	25名	25名	406名
賛助会員	134社	14社	8社	140社
名誉会員	12名	0名	0名	12名

5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第9条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の25名である。

・退会申し出による者 23名

(北海道支部) 小野田慎也

(東北支部) 岡本久俊

(関東支部) 岩崎哲士、牛建 務、小野亮二、木下庸子、榮田 斉、佐藤訓久、中村真之介、

山本忠夫

(中部支部) 伊藤孝紀、木間幸雄、沢井 滴、種田正人

(関西支部) 大田耕造、加藤義行、神原龍二、山崎康正

(中国支部) 中川英紀、HIDEKI 高盛

(四国支部) 東原淳夫、山下勝實

(沖縄支部) 宮里武志

・会費未納による者 2名

(関東支部) 竹内三ツ木

(関西支部) 長山 博